

★目次

◎謝辞…………… 9

第1章

デススター…………… 13

◎ネメシス説…………… 15

◎関連事項…………… 18

◎ネメシス騒動の簡略な経緯…………… 24

第2章

激変説と地球の歴史…………… 33

◎キュウイエ対ライエル…………… 34

◎隕石…………… 41

◎一匹狼と仮説の噴出…………… 45

★オットー・シンデヴォルフ ★デイグビー・マクラレーン ★ハロルド・ユーリー

◎オーストラリアの被弾…………… 54

第3章

恐竜、そして種の死滅……………59

◎すべての種が絶滅した！……………60

◎種の起原……………63

◎絶滅を引き起こす過程……………64

◎恐竜の死……………69

◎そのほかの白亜紀の絶滅……………73

◎そのほかの大量絶滅……………76

第4章

グッピオとイリジウム異常値……………79

◎なぜグッピオなのか……………80

◎一九八〇年の爆弾投下……………85

◎最初の反応……………87

第5章

三メートルのギャップとそのほかの証拠……………99

◎モンタナ州ヘル・クリーク……………100

◎オスミウム同位体……………108

◎衝撃を受けた石英……………109

第6章

◎極微テクタイト……………113

◎イリジウム異常値が見つかったそのほかの場所……………114

◎煤と大火……………116

筋書きの混乱……………119

◎殺戮のシナリオ……………120

◎火山説……………123

◎他の大量絶滅にも衝突があったのか……………128

◎二つの世論調査……………141

第7章

周期的絶滅の介入……………145

◎フィッシャーの周期……………146

◎NASA集会……………150

◎セブコスキの総覧……………153

◎数字を咀嚼する……………156

◎二六〇〇万年周期……………158

◎ヘルリン集会……………168

第8章

◎フラッグスタッフにおけるセブンスキの講演発表.....173

◎PNAS投稿用の原稿.....175

ネメシスの誕生.....179

◎宇宙物理学と古生物学.....180

◎《ネイチャー》一九八四年四月一九日号.....184

◎銀河系内での太陽の運動.....188

◎伴星.....190

◎ネメシス対シヴァ.....193

◎クレーター形成の周期性.....196

◎惑星X.....199

第9章

論争の高まり.....203

◎科学における論争.....204

◎非難を浴びせられた周期的絶滅.....209

◎ネメシス説に浴びせられた非難.....216

◎隕石衝突によるクレーター.....218

◎ネメシスと恐竜は独立なのか.....220

第10章

報道機関の役割.....225

◎セーガン化.....226

◎出版物「科学者向けと一般向け」.....231

◎ネメシス騒動に対する報道機関の反応.....235

◎潮流の変化.....241

◎トニ・ホフマン.....246

◎報道の善し悪し.....250

第11章

地球磁場の方へ.....253

◎磁場の逆転.....254

◎研究旅行.....257

◎論文審査.....260

◎ルッツの反論.....265

◎反応.....267

◎結果.....270

第12章

科学における信念体系.....

◎ 科学的方法.....

273

◎ 無罪が証明されるまでは有罪.....

275

◎ 宝くじに当たる「科学」か「宗教」か.....

276

◎ 狂信的異端分子.....

280

◎ ウェゲナーと大陸移動.....

287

◎ 信念体系とネメシス騒動.....

290

☆ エピソード.....

292

日本語版へのあとがき.....

297

訳者あとがき.....

303

索引.....

311

ネメシス騒動

恐竜絶滅をめぐる物語と科学のあり方

デイヴィッド・M・ラウブ著